

協力隊ライフ

vol.2

「安芸高田市を元気にしたい」「何か役に立ちたい」
そんな想いを胸に、安芸高田市に飛び込んできた協力隊たち。
この町で何ができるか、町の未来を思いながら、今日もそれぞれの場所で活動中。
協力隊のリアルな日常と地域とのつながりを、ゆるっと紹介していきます！



SHIMOBAYASHI YUJI

下林 悠治

吉田高校の
魅力化推進チャレンジ

2024.10～

この町でしかできない学びを

こんにちは。昨年10月に協力隊として着任しました、下林悠治です。吉田高校と地域をつなぐ“コーディネーター”として、地域資源や人との出会いを通じて、生徒たちの探究学習がより深まる環境づくりに取り組んでいます。

現在、特に注力しているのが「紅花栽培プロジェクト」。長門隊員と連携を取りながら、吉田町印内地区でかつて盛んに栽培されていた紅花を、地域の方々とともに復活させ、染物や口紅といった加工品づくりに展開することを目指しています。この取り

組みを、アグリ実験場や探求科の授業と連動させることで、学校と地域が一体となった学びの場を育てたいと考えています。

協力隊になり1年が経とうとしています。初めは右も左も分からない中でのスタートでしたが、市民の皆さんの温かさに支えられ、少しずつ地域の輪が広がってきました。これからも、もっと多くの“面白い地域の取り組み”を学校に繋いでいけるよう、アンテナを高く張って活動していきます。

おはて00/ たかた隊ってどんな人??

下半期の目標

「安芸高田市公式Instagramをもっと市民の方に知ってほしい」
「たかたんがもっと市民の方に愛される存在になってほしい」
という目標のため、『たかたんハイタッチ企画』を行っています。
たかたとハイタッチした写真を撮って、みなさまのSNSに投稿してほしい！
という企画です。たかたんファンが増えることでフォロワー増加にも繋がる
ことを期待しています。



Instagramを活用した魅力発信
藤田 京花



9月には「きらりんフェス」、10月には「国際交流サッカー大会」を予定して
います。異文化交流のイベント企画や生活支援情報の発信を通して、ベトナム
人住民同士絆をより一層深め、地元住民との架け橋としての役割を果たし
ていきたいと考えています。また、来年2月もベトナムの旧正月イベント"テ
ト"を行います。次回で3回目。よりみなさまが楽しめるイベントとなるよ
う、少しずつ準備を始めています。



ベトナム人コミュニティ構築
ホアングエン

下半期は「3年間で7件の事業承継を実施する」というミッションの2年目にあ
たり、今年度は3件の事業承継を目標に取り組みます。あわせて、事業承継で得
た知見や人脈を広げ、地域課題の解決策となる事業の立案(将来的な展開を見据
え、まちづくり事業会社の企画、民泊事業や派遣事業の可能性探求と計画の策
定)を行います。併せて、広報誌コラムの執筆、関係者との交流と人脈づくりにも
積極的に取り組んでいきます。



事業承継・商工振興推進
岡本 康太郎



上半期では、神楽門前湯治村で従業員の方々と協力して「ちいさな宝市」という蚤
の市イベントを開催したり、お食事処ふくすけの休業日を利用して「ふくすけカフ
ェ」をスタートし、運営サポートまでさせていただきました。
下半期では「ちいさな宝市」の反省を踏まえてブラッシュアップを行い、ふくすけ
カフェと絡めてより多くの地域の方に楽しんでもらえるようなイベントとして開
催したいと思います。



神楽門前湯治村のテナント空き地活用
椎葉 寛



吉田高校の魅力化推進
下林 悠治

今年度の当面の目標としては、9月末に開催される「吉高マルシェ」や11月の「道の駅三矢の里あきたかたでの探究学習成果発表会」、外部から多くのゲスト講師をお招きして高校生と交流してもらう「探求サロン」を成功させることです。そして来年度に向けて高校生活がより一層楽しくなるようなプロジェクトを地域と連携して用意していきたいと思います。

生産者さんの声を取材した動画づくりを通して、返礼品の魅力を“人のぬくもり”から伝えています。

下半期は、そこで見えた想いや背景を活かして、返礼品のブラッシュアップや新企画に挑戦したいです。モノだけでなくコトの返礼品もつくり、思わず誰かに話したくなるような応援のきっかけを増やしていきます！



ふるさと納税推進
金廣 愛璃



向原高校の魅力発信・地域連携
松川 拓馬

僕の下半期の目標は「学校を楽しむ生徒を増やすこと」です！

僕は現在、魅力化のために魅力発信と総合的な探究の時間（通称：総探）のサポートを行っており、魅力発信のためには、生徒が楽しんでいることが十分条件だと思っています。そのために、教員でも、保護者でもない斜めの関係性を強化をして、「学校を好きになってもらう」「学校に行きたいと思ってもらう」ことを大切にしていきたいと思っています。

生桑地区の地域振興
寺内 宏明

現在、烏骨鶏養鶏場設立のために動いており、今年度下半期での目標は最初の1羽を飼うことです。まだ計画段階なので、そのためにクリアすべきタスクは、土地の確保、設備の用意、飼料入手ルート、など数多ありますが、関係者や地域の方々のお力をお借りしつつ達成していく所存です。ゆくゆくは生田で作る竹炭米と循環できる飼育方法を確立し、今を支える産業のひとつにまで成熟できるよう努めます。



伝統と耕作放棄地を活用した町づくり
長門 和美



春から吉田町印内地区の地域の皆さんと一緒に栽培してきた紅花が、7月上旬に見頃を迎えました。これを記念して、お花見会も開催。現在は、藍など夏ならではの植物を楽しんでいます。

秋はお祭りの季節。安芸高田市ならではの神楽をはじめとした伝統芸能をたくさん観たいと思っています。そして冬に向けては、もう一つのミッションの柱である「ミツマタ和紙化計画」に焦点を当てて活動していきます！